

こんにちは

会社訪問記

信用を第一に、
誠意を持って廃棄物処理に取り組んでいます。

株式会社上野清掃社

(愛知県東海市)

東海市を中心に、産業廃棄物の収集運搬を行われている株式会社上野清掃社。名和町にある本社にお伺いし、新井専務取締役と営業部の新井さんのお二人にお話をさせていただきました。

— 古くから東海市で業を営まれているようですが、創業は何年ですか。

新井専務取締役（以下専務に略）『昭和30年に現社長が個人業としてスタートさせました。この業務には40年近く携わっていることになりますね。法人化は昭和54年、産業廃棄物処理業の許可は昭和49年に取得いたしました。以来、現在にいたるわけです。』



新井専務取締役

— 事業内容をお聞かせいただけませんか。

専務『当社は、産業廃棄物処理業としては収集運搬のみを行っています。この他には、都市下水道と工場・ビルの配水管清掃及び工事、側溝の清掃及び工事、浄化槽上下水道施設の清掃及び工事、衛生一般浄化槽維持管理及び工事から土木一式、とび土工、浚渫工事、建設一式の工事を行っております。』

— 貴社の特長を簡単にご説明していただけませんか。

専務『従来の思考にこだわらない柔軟な発想をする若者の登用を積極的に行っている会社、でしょうね。産業廃棄物処理の許可は現在、収集運搬のみですが、今後の事業拡大のためにも若い力が発展の原動力となってくれるよう大いに期待をかけているところです。』

— なるほど、確かにいまは時代の流れがとても速く、柔軟な思考を持っていないと乗り遅れてしまいそうですからね。ところで、収集運搬



社内

業を取り巻く現状をどのように分析していらっしゃいますか。

新井さん（以下新井に略）『収集運搬はいま一番苦しい時期だと思います。リサイクルの必要性が非常に高まっていますが、分別・選別を行うコストをみていただけない排出事業者さんもあると聞きます。私たち処理業者がリサイクルを行うにしても、なかなか減価償却ができないのがいまの実情ではないでしょうか。』

— 少し話題を変えて、社員教育はどんなことを行っているのでしょうか。

専務『社外で開催されるセミナーや勉強会に社員を参加させ、社員の知識向上に努めています。社内的には関係法令の知識習得、交通安全に対するドライバーに意識を高めるためミーティングを定期的に関開くなど、総合的な社員の資質向上に取り組んでいます。』

— 貴社のモットーは何ですか。

新井『これに尽きると思いますが「信用」です。』

— 最後に、将来の事業計画を教えてください。
専務『将来的には、中間処理施設を設置し、減量化・リサイクルに取り組んでいきたいですね。』



社名/株式会社上野清掃社 所在地/愛知県東海市名和町上大廻間23番地
代表者/新井武雄 創業/昭和30年 従業員/63名

TEL/052(604)5353

事業所/本社、富木島営業所 営業種別/収集運搬

取扱い品目/燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、汚泥と廃油の混合物